

各 位

会 社 名 株式会社アートフォースジャパン  
代表者名 代表取締役社長 山口 喜廣  
(コード番号 5072 TOKYO PRO Market)  
問合せ先 取締役経営統括本部長 持塚 隆  
(TEL 0557-45-1109)

## 第2四半期業績予想と実績値の差異に関するお知らせ

2023年2月15日に公表いたしました2023年12月期第2四半期連結累計期間(2023年1月1日～2023年6月30日)の業績予想と、本日公表の実績値との間に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 2023年12月期第2四半期連結(累計)期間(2023年1月1日～2023年6月30日)の業績予想と実績値の差異

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 2,330	百万円 27	百万円 19	百万円 12	円 銭 49.64
今回修正予想(B)	1,983	△39	△40	△16	△63.92
増減額(B-A)	△346	△67	△60	△28	
増減率(%)	△14.9	△242.0	△305.0	△228.8	
(ご参考) 前期第2四半期累計実績 (2022年12月期第2四半期)	2,365	55	55	39	156.41

#### 2. 差異の理由

当第2四半期連結累計期間につきましては、「地盤改良事業」、「建築事業」の報告セグメント売上高は当初予想より、建築計画情報が案件化し工事着工に至るまでのリードタイムが長期化する傾向により、計画進捗に遅れが生じ、前回公表より346百万円下回る見込みとなりました。

一方、利益については、引き続き経費の縮減に努めたものの、原油価格をはじめとした資源価格の高騰に伴うコスト増加の影響を受けたことと「建築事業」セグメントで1件の公共工事において工事損失が拡大したことなどにより、大幅減収に対し売上原価は当初予想より252百万円の減少にとどまって売上総利益は93百万円下回る見込みとなりました。販売費および一般管理費は当初予想より26百万円減少いたしました。営業利益は当初予想より67百万円下回り、39百万円の営業損失見込みとなりました。経常利益は、営業外収益及び費用において、受取保険金等その他の収入8百万円および支払利息等の支出9百万円の発生があり、当初予想より60百万円下回り、40百万円の経常損失見込みとなりました。特別損益は、工事施工機械等入替に伴う固定資産売却益10百万円の発生があり、上記の結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は、法人税等が当初予想より7百万円減少いたしました。当初予想より28百万円下回り、16百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失見込みとなりました。

なお、通期の連結業績予想につきましては、原油価格をはじめとした資源価格の更なる上昇や金融市場の為替動向、住宅着工戸数の推移など、景気への影響が不透明な状況が続くものと見込まれることから、現時点で合理的に算定することが困難であるため、2023年2月15日に公表いたしました連結業績予想の通期(2023年1月1日～2023年12月31日)の数値を据え置いております。但し、今後、合理的な算定が可能となった時点で修正が必要となった場合には、速やかに公表いたします。

※上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づくものであり、実際の業績は様々な要因の変化により、予想と異なる場合があります。